

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語 I A (English I A) 111007-14-000					担当教員	Paul Edwards (ポール エドワーズ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要	
主に英会話力（リスニング・スピーキング）をつける事を目的とする。講師、クラスメイトとのコミュニケーション、ネイティブ英語話者が話す英語からの状況の聞き取りの練習から、英語での会話練習をはかる。そのレベルに伴う文法の知識、語彙力、リーディング・ライティング力も必要とする。	
② ディプロマ・ポリシーとの関連	
コミュニケーション能力	
③ 授業の進め方・指示事項	
●教科書に沿った題材での文法・語彙学習、ペア、または小グループでの会話、意見交換、ディスカッション。 ●長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の自習。	
④ 関連科目・履修しておくべき科目	
特になし	
⑤ テキスト（教科書）	
Speaking of People (Vincent, Nakazato, Meadows 2020 Nan'Un·Do Co) English - Japanese / Japanese - English Dictionary (Electronic dictionary with speaker is preferred)	
⑥ 参考図書・指定図書	
授業時に教科書の題材に合わせたプリントを配布	
⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安	
英語でコミュニケーション、ディスカッション、意見交換、物事の説明ができるようになる。 (i) スピーキング (ii) リスニング (iii) ライティング	

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) スピーキング	教科書で学習する日常英会話を流暢さと明確さにおいて優れたレベルで使いこなすことができる。	教科書で学習する日常英会話を流暢で明確に使うことができる。	教科書で学習する日常英会話を平均以上の流暢さと明確さで使うことができる。	教科書で学習する日常英会話を平均的な流暢さと明確さで使うことができる。	教科書で学習する日常英会話を流暢さと明確さを持って使うことができない。
(ii) リスニング	英語の内容や意味を容易に聞き分け理解する事ができ、また質問や求められた事柄に対して、非常に的確に応じることができる。	英語の内容や意味を聞き分け理解する事ができ、また質問や求められた事柄に対して的確に応じることができる。	英語の内容や意味のほとんどを聞き分け理解する事ができ、また質問や求められた事柄に対して概ね的確に応じることができる。	英語の内容や意味を平均的なレベルで聞き分け理解し、また質問や求められた事柄に対し、対応はできるが的確さに欠ける。	英語の内容や意味の聞き分け理解力、対応能力が平均以下である。
(iii) ライティング	教科書で学習した内容について、正しい文法で秀でたレベルの流暢さ、明瞭さのある文章を書くことができる。	教科書で学習した内容について、文法まちがいはほとんど無く、高いレベルの流暢で明瞭な文章を書くことができる。	教科書で学習した内容について、いくつかの文法まちがいはあるものの、平均を上回る流暢で明瞭な文章を書くことができる。	教科書で学習した内容について、文法まちがいはあるものの、平均的な流暢さと明瞭さで文章を書くことができる。	教科書で学習した内容について、文法まちがいが多く、最低限の流暢さ、明瞭さを持って書くことができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) スピーキング						20%		20%
(ii) リスニング	10%		10%			10%		30%
(iii) ライティング	40%		10%					50%
フィードバックの方法	試験については授業内で復習、解説。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業では、全員参加型アクティビティを多用します。たくさん話す経験をしてください。「英語マインド」に頭を切り替えて臨んでください。 単語学習は常に米百俵ドリル「スタンダードコース」での自主学習を進め、授業での会話に活かせるようにしておいてください。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	Course and textbook introduction and year plan Background information activity	授業の復習をする事。	90 分
2	Background Information Partner Introductions Text : Unit 1 Speaking about Yourself	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
3	Partner Introductions Text : Unit 1	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
4	Text : Unit 2 What do you do?	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
5	Text : Unit 2 What do you do? / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
6	Text : Unit 3 What does he look like?	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
7	Text : Unit 3 What does he look like? / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
8	Review Unit 1-3	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
9	Text : Unit 4 Where are you from?	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
10	Text : Unit 4 Where are you from? / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
11	Text : Unit 5 Likes and Dislikes	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
12	Text : Unit 5 Likes and Dislikes / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
13	Text : Unit 6 What's She Like	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分

14	Text : Unit 6 What's She Like / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
15	試験前まとめ	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
16	Text : Unit 7 Tell me about Your Family	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
17	Text : Unit 7 Tell me about Your Family / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
18	Text : Unit 8 Communication	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
19	Text : Unit 8 Communication / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
20	Text : Unit 9 How are you feeling?	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
21	Text : Unit 9 How are you feeling? / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
22	Review Unit 7-9	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
23	Text : Unit 10 Memories	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
24	Text : Unit 10 Memories / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
25	Text : Unit 11 Talking about Health	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
26	Text : Unit 11 Talking about Health / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
27	Text : Unit 12 Mindset	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
28	Text : Unit 12 Mindset / Print	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分
29	冬休みにしたこと	授業で学習した内容の復習をする事。	90 分
30	試験前まとめ	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90 分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL を採用

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性